KENWOOD

コンパクト ハイファイ コンポーネント システム

M-313
取扱説明書

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation
LVT2193-001A [J]

MP3/WMA

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、
別冊の安全上のご注意、取扱説明書の本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。
取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

0810YOMMDWMTS

ユーザー登録について

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録(My-Kenwood)をお願いしています。
弊社ホームページ内で登録ができます。
なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
http://jp.my-kenwood.com

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間	月曜日～金曜日	**9:30～18:00**
	土曜日	**9:30～12:00、13:00～17:30**
	※日曜、祝日及び当社休日を除く	

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP電話からは**045-450-8960**
- FAX **045-450-2287**

❍ 付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。

- リモコン RC-F0323 (1個)
- 単4形乾電池 (2本)

- FM 簡易型アンテナ (1本)

⚠ 本機を設置するときのご注意

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。

主な仕様

本体

アンプ部

実用最大出力	5 W + 5 W (JEITA THD10%/4 Ω)*
スピーカー適合インピーダンス	4 Ω - 8 Ω
入力端子	AUDIO IN:ステレオミニ(φ 3.5 mm) 250 mV/50 kΩ
デジタル入力	USB端子

チューナー部

受信周波数	FM: 76.0 MHz～90.0 MHz

CD部

ワウフラッター	測定限界以下

USB部

仕様	USB 2.0 フルスピード対応
対応機器	USB マスストレージクラス機器
ファイルシステム	FAT 16、FAT 32
USB出力電源	DC5 V ⎓ 500 mA

共通

電源電圧	AC 100 V (50 Hz/60 Hz 共用)
消費電力	25 W(電源入時) 1 W 以下(電源待機時)
寸法	幅 150 mm × 高さ 175 mm × 奥行き 211 mm
質量	約 2.1 kg

スピーカー

スピーカー	1ウェイバスレフ型
スピーカーユニット	10 cm × 1
インピーダンス	4 Ω
寸法	幅 140 mm × 高さ 173 mm × 奥行き 170 mm
質量(1本あたり)	約 1.2 kg

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- *はJEITA (電子情報技術産業協会) の測定法に基づく数値です。
- 本製品は「JIS C 61000-3-2適合品」です。

❍ リモコンの準備

電池の＋と－の向きを正しく入れてください。

電池の交換方法:

⚠ 注意:

- 電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 電池を直射日光(炎天下)や火のそばなど高温となる場所に置かないでください。発熱・破裂・発火による火災、けがの原因となることがあります。

付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。

接続する

接続上のご注意:

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

FM簡易型アンテナ(付属品)を接続する

最も受信状態の良い位置と方向に伸ばしてください。

FM 簡易型アンテナ (付属品)

スピーカーを接続する

- 両方のスピーカーが正しく、しっかりと接続されていることを確認してください。
- スピーカーコードを接続する場合は、＋と－を間違えないようにしてください。赤色のスピーカーコードは＋、黒色のスピーカーコードは－に接続してください。
- 1つのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードの導線部分を本体の金属部分に接触させないでください。

背面

⚠ 注意:

- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機のFM端子を接続している場合は、FM放送局の周波数が通常と異なることがあります。
詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

電源プラグを接続する

すべての接続が終わったら電源プラグを接続します。

⚠ 注意：機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

ディスク/ファイルについて

お手入れについて

ディスクの取り扱いとお手入れ

- ディスクにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- ディスクは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプディスク (特殊形状のディスク)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- ディスクをお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

本体の掃除

- パネルの操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとからからぶきをしてください。
- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンなどの溶剤は使わないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

CDプレーヤーのレンズのお手入れ

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。
CDドアを開け、レンズを清掃してください。

- 市販のCDレンズクリーナー(乾式タイプ)をご利用ください。
- ほこりなどは、図のように市販のクリーニングキットのブロワーを使って、はき出してください。

ディスク/ファイルについて

- 本機で再生できるディスク/ファイルは以下のとおりです。
  - 音楽CD(「COMPACT disc」のロゴのあるディスク)
  - 音楽CD(CD-DA)フォーマットのCD-R/CD-RW
  - CD-R/CD-RW (フォーマットはISO 9660 Level 1またはLevel 2)のMP3/WMAファイル
  - USB機器 (最大転送速度は2 Mbps) のMP3/WMAファイル
- 本機では「パケットライト方式」でフォーマットされたディスクは再生できません。
- 本書ではMP3/WMAの説明をする場合、「ファイル」と「曲」は同じ意味で使っています。
- 本機は、99グループファイルと999曲まで認識できます。
- MP3/WMAについて
  - 本機ではタグ情報を表示できます (ただし日本語表示はできません)。
  - 本機では次のようなサンプリング周波数とビットレートで録音されたMP3/WMAファイルを再生できます。
    サンプリング周波数: 44.1 kHz
    ビットレート: 32 kbps ～ 320 kbps (VBR*)
    *VBR(Variable Bit Rate:可変ビットレート)でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。
  - MP3/WMAファイルはサンプリング周波数44.1 kHzと、ビットレート128 kbpsで作成することをおすすめします。
  - MP3/WMAファイルの再生順は、録音時に意図した順序と異なることがあります。(MP3/WMAファイルを含まないフォルダは無視されます。)
  - 録音状態や記録方法によっては再生できないMP3/WMAファイルもあります。
  - Windows Media ™ Player 9 以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
    - WMA Professional
    - WMA Lossless
    - WMA Voice

よりよくお使いいただくために

故障かな?と思ったら

サービスセンターにご相談になる前に、下記の項目をチェックしてみてください。

共通

電源が入らない。
➡ 電源プラグの接続を確認してください。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。
➡ 操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。

リモコンから本体を操作できない。
➡ リモコンと本体のリモコン受光部との間を遮らないようにしてください。
➡ リモコンの電池を2本とも新しい電池に交換してください。

音声が聞こえない。
➡ ヘッドホンをはずしてください。
➡ 音量を正しく調節してください。

ラジオの操作

雑音が多く放送が聞きづらい。
➡ アンテナを正しく接続してください。
➡ アンテナを調整し直すか、本機の設置場所を変えてください。
➡ 本機の電源を切り、入れ直してください。

ディスク/USB機器の操作

再生できない。
➡ ディスクの文字のある面を上にして入れてください。
➡「パケットライト(UDF形式)」で録音されたディスクは再生できません。
➡ Windows Media™ Player 以外で楽曲管理されたデジタルオーディオプレイヤーは再生できません。
➡ USB機器を正しく接続してください。

MP3/WMAのグループやトラックが意図したように再生できない。
➡ 再生順はグループやトラックを録音した書き込みソフトで決まります。

ディスクやUSB機器からの音声が途切れる。
➡ 汚れや傷のあるディスクは、清掃するか交換してください。
➡ 正しく書き込まれたMP3/WMAファイルを再生してください。

上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っています。どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源プラグをはずし、しばらく待ってからつなぎ直してください。

時計/音/表示窓の設定

本書では、おもに**リモコンのボタンを使って**操作説明をしています。
本体の同じマークのボタンは、リモコンと同じ働きをします。

お使いになる前に

時計を合わせる

電源が切れているとき(スタンバイ時)に時計を合わせることができます。

1 CLOCK/SLEEP **を押しつづける。**

0:00

- すでに時計を合わせているときは、時計表示が点滅するまで押しつづけてください。

2 時刻を合わせる。

◄◄ または ►► ▶ CLOCK/SLEEP

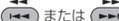
- 本機の時計は月に1、2分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時刻を合わせ直すことをおすすめします。

現在時刻を確認するには

電源が入っているときに

CLOCK/SLEEP　10:00

時刻が表示されます。

電源プラグを抜いたり、停電で電源が切れたときは

表示窓に「0:00」が点滅表示します。
時計を合わせ直してください。

❍ おやすみタイマーを使う

設定した時間が経過すると、自動で電源が切れます。

電源が入っているときに

1 CLOCK/SLEEP **を押しつづける。**

2 CLOCK/SLEEP

SLEEP 10 → SLEEP 20 → SLEEP 30 → … → SLEEP 90 → OFF → SLEEP 10

- おやすみタイマーが設定されているときに[CLOCK/SLEEP]を押しつづけると、残り時間を確認できます。
- 設定時刻を変更するには、[CLOCK/SLEEP]をくり返し押してください。

❍ タグ情報を表示する

MP3またはWMAを再生中に

DISPLAY/PROGRAM　ID3 ON

ID3 ON ⟷ ID3 OFF

MP3(ID3)またはWMAのタグ情報は自動的に以下のように表示されます。(ただし日本語表示はできません。)

グループ名 → ファイル名 → 曲タイトル → 演奏者名(アーティスト名) → アルバム名 → グループ名

❍ 音を調節する

一時的に消音する

FADE MUTING　MUTING

- もう一度押すと元の音量に戻ります。

低音を強調する(HBS)

HBS　HBS

HBS ⟷ キャンセル (表示なし)

サウンドモード

お好みのサウンド効果を選びます。

SOUND

ROCK → POP → CLASSIC → キャンセル (表示なし) → JAZZ → ROCK

基本操作

本書では、おもに**リモコンのボタンを使って**操作説明をしています。
本体の同じマークのボタンは、リモコンと同じ働きをします。

スタンバイ状態について

本機のSTANDBYインジケータが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。またこの状態のとき、リモコンで本機の電源をオンにできます。

背面

FM COAXIAL (75Ω)

ANTENNA

PHONES

ヘッドホンを使用するときは...

ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前には、必ず音量を最小にしてください。

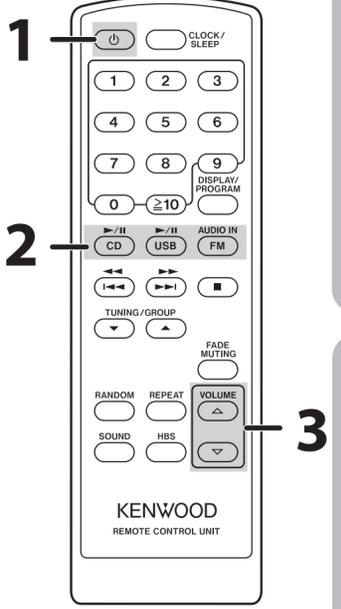
• ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

ヘッドホン(市販品)

ステレオミニプラグコード

音量を上げた状態で電源を切らないでください。

次に電源を入れたときに、突然大きな音が出て、スピーカーやヘッドホンが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

FM放送

放送局を選ぶ

1 AUDIO IN FM

FM 87.50

FM ⟶ FM MONO ⟶ A--IN (AUDIO IN)

2 TUNING/GROUP ▼ ▲ **のどちらかを押しつづける。**

自動的に選局を始め、放送を受信すると止まります。

• 選局を止めたいときは、もう一度押します。

• くり返し押すと、0.1 MHzずつ変わります。

FMモードを切り替える

FMステレオ放送が聞き取りにくいときに

AUDIO IN FM

MONO

FM ⟶ FM MONO ⟶ A--IN (AUDIO IN)

• 音声がモノラルになり、聞きやすくなりますが、ステレオ効果はなくなります。

放送局を記憶させる(プリセット)

最大20局まで記憶させることができます。

記憶させたい放送局を受信中に

1 DISPLAY/PROGRAM

01 87.50 PROG.

プリセット番号

2 **記憶させたい番号を数字ボタンで選ぶ。**

05 87.50 PROG.

• 番号の選びかたは、左下の「リモコンで番号を選ぶには」を参考にしてください。

• [◀◀] または [▶▶] を使うこともできます。

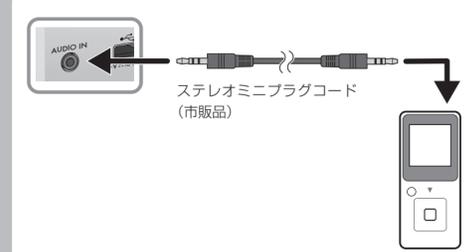
3 DISPLAY/PROGRAM

PRE 05

放送局を呼び出す

• 番号の選びかたは、左下の「リモコンで番号を選ぶには」を参考にしてください。

• [◀◀] または [▶▶] を使うこともできます。

外部機器

再生する

1 AUDIO IN FM

A--IN

FM ⟶ FM MONO ⟶ A--IN (AUDIO IN)

2 **外部機器を再生する。**

外部機器を接続するときは...

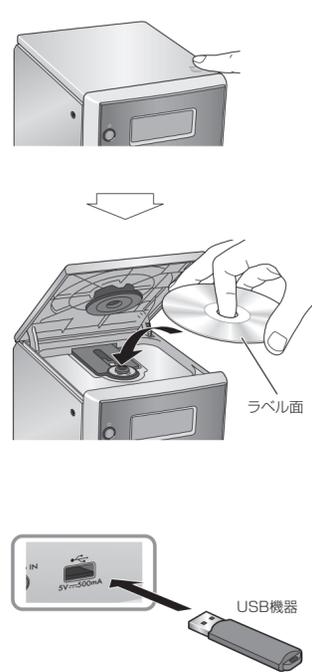
外部機器を接続したり、はずしたりするときには、必ず音量を最小にしてください。

リモコンで番号を選ぶには

数字ボタンを押します。

例:

番号	操作手順
5	5
20	≧10 ➡(表示窓に"-- --"が表示されたら)2 ➡ 0 または ≧10 ➡(表示窓に"-- -- --"が表示されたら)0 ➡ 2 ➡ 0
125	≧10 ➡ 1 ➡ 2 ➡ 5

ディスク/USB機器

USB機器について

• 本機の電源が入っているときにUSB機器をはずさないでください。本機やUSB機器の故障の原因となります。

• USB機器を接続するときには、音量を最小にしてください。

• USBハブは使用しないでください。

• 音源に「USB」を選んでいるときに、接続しているUSB機器が充電されます。(音源に「USB」を選んでいても、充電されないUSB機器もあります。)

• すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。

• USB機器の再生について

– 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります。

– USB機器に入っているMP3/WMAファイルを再生できます(最大転送速度は2 Mbps)。

– 2ギガバイト以上のファイルは再生できません。

– 本機はDRM(Digital Rights Management)には対応していません。そのため、パソコンでインターネットからダウンロード購入したファイル(著作権保護されたファイル)などは再生できません。

再生する

音源を「CD」または「USB」にする

CD

USB

• 音楽CDが入っていると「CD」が表示されます。

• USB機器が接続されていると「USB」が表示され、再生中は点滅します。

• MP3/WMAファイル再生中は「MP3」または「WMA」が表示されます。

CDドアを開ける

本体の ≜ PUSH を押す。

曲を選ぶ

|◀◀ または ▶▶|

早送りする

▶▶| を押しつづける。

早戻しする

|◀◀ を押しつづける。

グループを選ぶ(MP3/WMAのみ)

TUNING/GROUP ▼ ▲ のどちらかを押す。

停止する

■

リピート再生する

再生停止中に

REPEAT

REPEAT1

押すごとに表示が以下のように変わります。

→ REPEAT1 ⟶ REPEAT → REPEAT GROUP (MP3/WMAのみ) → キャンセル (表示なし)*

* 再生停止中に表示窓に「GROUP」と表示されます(MP3/WMAのみ)。

REPEAT1	現在の曲をくり返す
REPEAT	すべての曲をくり返す(プログラム再生中はプログラム内容をくり返す)
REPEAT GROUP	現在のグループをくり返す(MP3/WMAのみ)

ランダム再生する

再生停止中に

RANDOM

RANDOM ⟷ キャンセル (表示なし)

ランダム(無作為)な順序で曲が再生されます。

すべての曲をランダムに再生し終わると自動的に停止します。

• ランダム再生中に数字ボタンで曲を選択することはできません。

プログラム再生する

再生停止中に

1 DISPLAY/PROGRAM

PROG.

2 **曲番号を選ぶ(32 曲まで登録できます)。**

音楽CDの場合

|◀◀ または ▶▶| ▶ DISPLAY/PROGRAM

MP3/WMAの場合

(1)グループを選ぶ

TUNING/GROUP ▼ ▲ のどちらかを押す。▶ DISPLAY/PROGRAM

(2)曲を選ぶ

|◀◀ または ▶▶| ▶ DISPLAY/PROGRAM

• 33曲目を登録しようとすると、「PROGFULL」と表示されます。

• 数字ボタンでグループと曲を選択することもできます。

3 CD または USB

• [REPEAT]を押すとプログラム内容がリピート再生されます。

• プログラム再生中に数字ボタンで曲を選択することはできません。

プログラム再生停止中に...

• プログラム内容を確認するには、[DISPLAY/PROGRAM]をくり返し押します。

• 曲を追加するには、[DISPLAY/PROGRAM]を"00"が表示されるまでくり返し押してください。その後、左記の手順1から2をくり返して新しい曲を選んでください。

• プログラム内容を消去するには [■] を押します。

KENWOOD

安全上のご注意

取扱説明書
M-313
LVT2194-001A
0810YOMMDWMTS

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

警告

異常のときは

異常が起きた場合は電源プラグを抜く
内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源コード・プラグについて

電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

設置について

交流 100 ボルトの電圧で使用する
この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない
水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついたものを置かない
本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について

水をかけたりぬらしたりしない
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない
感電の原因となります。

お手入れ

電源プラグを定期的に清掃する
電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

注意

異常のときは

落下した機器は電源プラグを抜く
機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない
電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

設置について

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない
油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない
窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

機器に乗らない
機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く
移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

機器の接続は取扱説明書に従う
関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

使用について

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。

機器の内部に異物を入れない
機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。

機器のケースを開けたり改造したりしない
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

ディスク挿入口に手を入れない
手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。

使用について

レーザー光源をのぞき込まない
レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速に回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池について

電池の取り扱いに注意する
次のことを、必ず守ってください。
・極性表示（プラス "＋" とマイナス "－" の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
・指定の電池を使用する。
・使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
・違う種類の電池を混ぜて使用しない。
・充電池と乾電池を混ぜて使用しない。
・電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。
電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

音量について

はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない
聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

お手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜く
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

定期的に内部の点検、清掃をする
3 年に 1 度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄のケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

レーザー製品についてのご注意
1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. **注意** ： 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。
3. 機器内部には、以下のラベルがあります。

注意：ここを開くと可視及び／または不可視のクラス 1M レーザー放射が出ます。光学装置で直接見ないでください。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA 機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。

特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

データのお取り扱いについて

- 大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 本機と接続機器間での再生のときに、データの消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日･販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従ってお調べいただき、なお異常がある時は製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

技術料：

製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

部品代：

修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

送　料：

郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

2010年8月現在

地区 / センター	〒	住所	☎
北海道			
札幌サービスセンター	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	(011) 807-3003
東北			
仙台サービスセンター	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	(022) 287-0151
関東･信越			
さいたまサービスセンター	331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	(048) 778-8714
千葉サービスセンター	277-0863	柏市豊四季512-10-67	(04) 7171-3800
横浜サービスセンター	226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	(045) 939-6242
新潟サービスセンター	950-0913	新潟市中央区鐙1-5-23	(025) 245-2177
大田サービスセンター	146-0082	大田区池上2-8-10 プラムビル1F	
(修理持込専用窓口) 電話でのお問合せはカスタマーサポートセンターにて承ります。			
中部･甲州			
名古屋サービスセンター	481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	(0568) 24-1644
静岡サービスセンター	420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	(054) 262-8700
金沢サービスセンター	921-8062	金沢市新保本4-65-17	(076) 269-2935
近畿･四国			
大阪サービスセンター	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	(06) 6390-8005
高松サービスセンター	761-8057	高松市田村町205-1	(087) 802-6055
中国			
広島サービスセンター	730-0825	広島市中区光南3-9-17	(082) 241-0023
九州			
福岡サービスセンター	812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F	(092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	(099) 268-0030
沖縄サービスセンター	901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	(098) 898-3631

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

カスタマーサポートセンター

■ 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114（一般電話･公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960　　FAX 045-450-2287

受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00

土曜　9:30～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害